

[GALLIUM PRESENTS.]

ゲレンデで楽しくカーヴィングするために。
レースで結果を出すために。
役立つ! ワクシングやメンテナンス方法を
身につけよう!

カーヴィング・スノーボード、アルパイン・スノーボードの楽しさは何か?
それは、雪面をしっかりエッジで捉え、滑走面が雪面を気持ちよく滑る・・・そこではないだろうか。
基本的にゲレンデ・カーヴィングやポールレースを楽しむcarve読者のほとんどは、
その点を良く理解している方が多いのは周知の上。
もっと、ゲレンデで楽しくカーヴィングするために、レースで結果を出すために、
身に付けておくと役立つワクシングやメンテナンス方法を紹介しましょう!

Special Thanks_GALLIUM / www.galliumwax.co.jp



SOLUTION 01

レースで勝つために、他の選手と差をつけるために

[フッ素ワックス “GIGA SPEED Maxfluor” を使用する]

一発勝負のレースの世界で、他の選手に差をつけるためにオススメするワックスは “GIGA SPEED Maxfluor”。雪温に対し、2種類がある(下記参照)。低温環境下でも滑走性がアップする液体フッ素ワックスは、各国のナショナルチームからも高評価。ワールドカップや世界選手権優勝者も使用している。

GIGA SPEED Maxfluor DRY (30ml)
¥14,000+(税)



-20℃⇄-3℃

GIGA SPEED Maxfluor (30ml)
¥14,000+(税)



-5℃⇄+10℃

SPECIAL WAX(スタートワックス)は高価で使えない!

年に数度しかレースには出ない・・・という方にはこちらがオススメ!

GIGA SPEED Maxfluor JET

¥1,500+(税)
容量:1枚/袋
GIGA SPEED Maxfluorを積層パッドへ含浸

使用目安

スノーボード	1枚
アルペンスキー	1枚
クロスカントリースキー	2枚

使い切りタイプ

-5℃⇄+10℃



TIPS

GIGA SPEED Maxfluorは、撥水性が高いのはもちろん、生塗で比較した場合、ソリッド&パウダータイプのフッ素ワックスよりも持続性が高い。特筆すべきは使用方法が簡単な点!フェルト面で伸ばし、液体が乾いたら滑走OK! 基本、塗りっぱなしで滑走OKだが、降雪時はナイロンブラシで軽くブラッシングすると滑り出しがよりスムーズに!ワックスマンや選手の中でも評価&信頼性が非常に高く、絶対に欠かさないワックス!困った時の頼れるワックスだ。

SOLUTION 02

カービング・スノーボード、レースでの肝になる、確かに正確なエッジングのために

[鋭いエッジをキープする方法]

エッジ研磨に新しい提案。DIAFACE MOONFLEX(ダイヤフェイスムーンフレックス)で、誰でも簡単に鋭いエッジをキープ

チューンナップショップでキレイに研いでもらったエッジが、数日滑走するどエッジのキレが悪くなった!!と感じるカーヴァーはいませんか? エッジは滑走するごとに角が丸くなり、エッジグリップが低下します。特に硬いバーンを滑ると1日~数日で丸くなってしまいます。完全に丸くなったエッジをショップから受け取った直後の状態に戻すには、またショップに出す手間や

お金がかかってしまいますし、自身でやるとなるとそれなりの技術も必要です。そんな悩みを解決するのが「DIAFACE MOONFLEX」。ショップから戻ったばかりのキレイに研いだエッジを「DIAFACE MOONFLEX」で簡単にお手入れするだけで、キレイのエッジをキープ可能! しかも使い方は簡単!! 下記の写真の様に前後させるだけ! 失敗知らずです!!



DIAFACE #200をファイルガイドにセットし、エッジを削る&磨く
DIAFACE #400をファイルガイドにセットし、エッジを削る&磨く
最後に、DIAFACE #600をファイルガイドにセットし、エッジを仕上げます

DIAFACE MOONFLEX
3点セット
(#200・#400・#600各1枚)
¥11,400+(税)
MADE IN ITALY

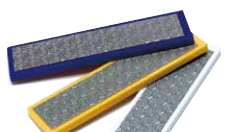


さらに、キレイのエッジをキープできます!!バリなどの凹凸を限りなく少なくする事で摩擦が減り、エッジの切れが長持ち



DIAFACE #400をファイルガイドにセットし、エッジを削る&磨く
DIAFACE #600をファイルガイドにセットし、エッジを削る&磨く
最後に、DIAFACE #1500をファイルガイドにセットし、エッジを仕上げます

DIAFACE MOONFLEX
最速仕上げ3点セット
(#400・#600・#1500各1枚)
¥11,400+(税)
MADE IN ITALY



TIPS

キレイのエッジを作るためには、角をつぶさず、しっかり角をつけ、バリを取り除く事が重要。バリがあるとスムーズなエッジングが不可能になり、抵抗が増えるためエッジのキレも長持ちしない。特にアルペンレース(ポールレース)では、ワックスの重要性はもちろん、エッジのエッジの連続なので、エッジのキレが勝敗を大きく左右する。スノーボーダーのエッジに対しての意識はまだ低いのが現状。アルペンスキー界では、大会前はもちろん、頻りに手入れするのが常識だ。シーズンが終わる頃にはエッジの幅が半分以下になる事も! 料理人が毎日包丁を研ぐのと同じくらい重要な事だ!



深いヤキ取り
DIAFACE MOONFLEX
#100
(COLOR:BLACK)
¥4,000+(税)
MADE IN ITALY



軽いヤキ取り、バリ取り、粗仕上げ用
DIAFACE MOONFLEX
#200
(COLOR:RED)
¥4,000+(税)
MADE IN ITALY



細かいバリ取り用
DIAFACE MOONFLEX
#400
(COLOR:YELLOW)
¥4,000+(税)
MADE IN ITALY



目立て用
DIAFACE MOONFLEX
#600
(COLOR:WHITE)
¥4,000+(税)
MADE IN ITALY



ファイン仕上げ用
DIAFACE MOONFLEX
#1500
(COLOR:BLUE)
¥4,000+(税)
MADE IN ITALY

SOLUTION 03

ゲレンデ・カーヴァーをメインに、まだホットワックスを試みていないユーザーへ

[ホットワックス・クリーニングのススメ]

カービングを楽しむために必要な、雪面をストレス無く滑走するためには、ボードが滑るようになること、当然、スピードが増し、カービングが楽しくなるのは間違いありません。

基本的なホットワックスとクリーニング方法を身に付け実行すれば、爽快にカービングを楽しむ事ができます!まずは、これからスタートしましょう!

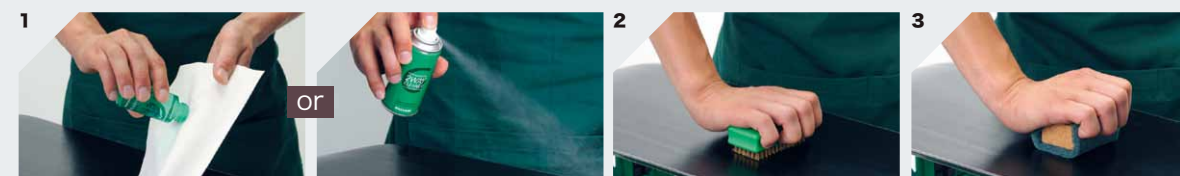
まずは基本! クリーニング&ホットワックス!

1:これから滑走or滑走終わり

2:クリーニング

滑走低下の一番の原因は汚れの付着! ワックス前にクリーニングを行いましょう!

ボードが滑らなくなる一番の原因はワックスが取れたから!と思いませんか? 実は、ボードが滑らなくなる一番の原因は「汚れの付着!」です。まず、ワックス前に必ずクリーニングを行いましょう。



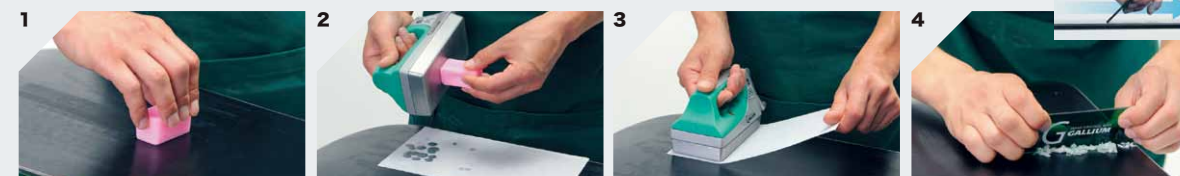
1 クリーナーをキッチンペーパー等に紙ふんが出てくるまで塗って、汚れや古いワックスを取り除いて下さい。
2 ツーウェイクリーナーの缶をよく振ってから滑走面にスプレーし、キッチンペーパー等で汚れや古いワックスを取り除いて下さい。
3 ストラクチャー内のケバやゴミ、汚れを取り除くため、プロングブラシを使ってノーズ(トップ)からテール方向に向かってブラッシングします。さらにコルクに巻いたファイバーテックス(粗仕上げ用)で細かなケバを取り除きます。

TIPS

1回で汚れが取りきれない場合は2~3回と、キレイになるまでこの工程1を行う。基本的には、食器洗いや洗濯と同じ気持ちで。また、クリーナーを使用すると「ホットワックスにより滑走面に浸透したワックスが取れる」と思われているが、実際は浸透したワックスが取れる事はない。クリーナーは、滑走面の表面に付着した汚れやワックスを取るもの!クリーナー使用後に滑走面が白くなるのは、浸透したワックスが取れたのではなく、滑走面表面のワックスが無くなり、ワックスにより潤っていたケバが、立ち上って白く見えている現象!

3:ホットワックス

ホットワックスをすることにより、滑りが良くなるのはもちろん、ワックスも長持ちします。コンディションに合わせたワックスをチョイスし、アイロンを使ってワックスを行いましょう。



1 選択したワックスを滑走面全体に生塗りします。アイロンにワックスをあてて、ワックスの表面を少し溶かして柔らかくした方が生塗りしやすくなります。
2 ワックスを滑走面全体に生塗りし、アイロンでワックスを溶かしながら適量垂らします。
3 アイロンを止めないように注意し、滑走面全体に滑走面を伸ばします。
4 常温まで冷えたらスクレーパーでワックスを削ります。

注意: 滑走面の焼き付け防止のため、ワックスをアイロンで滑走面に挟んで、ワックスして下さい。またアイロンの温度は、各ワックスを溶かした時に、アイロンから煙が出ない程度に設定して下さい。



5 エッジについたワックスはスクレーパーの端の角で削ります。
6 ポアブラシでストラクチャー内の細かなワックスを掻き出します。
7 ナイロンブラシで滑走面を磨き上げます。
8 最後にファイバーテックス(最終仕上げ用)で、掻き出した細かなワックスをキレイに拭き取ります。

TIPS

ホットワックスをする場所は、なるべく暖かい場所(常温の場所)で行うこと。寒い場所でワックスをすると、外気温にアイロンの温度が奪われ、上手くワックスが溶けなかったり、滑走面が冷えているので、ワックスが上手く伸びない。暖かい部屋でワックスをする事で、上記の悩みは解消され、スムーズなワックスができ、浸透性もアップする。ワックスを剥がす時も同様です。寒い場所で作業をすると、ワックスが硬くなっているため、上手くワックスを剥がす事が出来ず、時間がかかるうえに、剥がし残しの原因となってしまいます。

★上記の工程が一連の流れになります。

4:滑りに行く

Trial Waxing Box

ホットワックスに必要な用具とワックスの全てを1つのボックスにまとめました。これさえあればホットワックスが始められるおすすめのセットです!
¥12,000+(税)

セット内容

- ガリウムEXTRA BASEワックスセット (BLUE-VIOLET・PINK / 各30g)
- ミニプロングブラシ
- ミニスクレーパー
- ミニコルク
- ミニストリムバー
- チューニングシート(200x170mm)
- ミニファイバーテックス(コンビ)
- アイロン・S
- ワックスペーパー 10枚
- ワックスマニュアル
- ボックス

